

主催者挨拶

沢田 治雄（森林総合研究所¹所長）

本日は年の初めに当たる大変お忙しい中、多くの方々にご来場いただき、心から感謝申し上げます。ご存じのとおり、気候変動問題には全世界の関心が高まっている。昨年から今年にかけてブラジルのアマゾン、アフリカのコンゴ人民共和国、インドネシア、オーストラリアなど、世界の森林地帯で大規模かつ長期の森林火災が報じられている。また、干ばつや洪水の増加や激甚化などが世界各地で人々の暮らしにますます脅威を与えている。そのため、途上国における森林減少・劣化の抑制による温室効果ガス排出削減、持続可能な森林経営、森林保全、森林炭素蓄積の増強など、いわゆる REDD+はその重要性がますます高まっており、パリ協定²5条においてもその実施と支援が奨励されている。そして REDD+は気候変動だけではなく、生態系や生物多様性保全、地域住民の貧困削減の観点も重視した活動として期待され、現在、準備段階からステップアップした、本格的な実施に向けた取り組みを進めることが期待されている。

パリ協定に関しては2020年の本格的実施に向け、ルールに関わる合意形成が進められている。一方、パリ協定に掲げられている、気候変動対策における森林ベースの解決策の推進には相当の資金が必要だが、政府開発援助（ODA）などの公的資金には限りがある。そのため、市場メカニズムの実施指針についても早期に合意形成を行い、民間参画を含めた本格的な実施を促進することが期待されている。

森林総合研究所では2010年に REDD 研究開発センター³を林野庁⁴の支援の下、設置し、REDD 分野への民間セクターの参入促進に関わってきた。そして森林炭素蓄積量を効率的に計測する手法の開発や、REDD+に関わる社会経済的分析などの研究を行うとともに、REDD+に関わる研究者や技術者をつなぐハブとしての役割を担ってきた。また、民間企業、民間団体、政府機関、研究機関、関係省庁等、オールジャパンでの REDD+活動を促進するため、国際協力機構⁵（JICA）と共に「森から世界を変える REDD+プラットフォーム⁶」に積極的に関わって、科学的知見等の普及啓蒙活動を推進している。

これらのような背景から、今年度の REDD+国際セミナーは、途上国への支援と実施における技術的ツールとガイダンス、また、市場的アプローチや二国間・多国間協力の活用に焦点を当て、民間セクターを含めた REDD+活動を展望することを目的としている。そこで、森林総合研究所 REDD 研究開発センターのこの10年間の成果を発表させていただくとともに、より具体的な取り組みの方向性について専門家の皆さまからご講演いただく。

基調講演では、国際的な見地から FAO⁷/UN-REDD⁸の Malgorzata Buszko-Briggs 様に「REDD プラスの歴史と展望」と題してご講演いただく。続いて、REDD+実施国の立場で、ミャンマー天

¹ <https://www.ffpri.affrc.go.jp/ffpri.html>

² https://unfccc.int/files/essential_background/convention/application/pdf/english_pari_agreement.pdf

³ <http://redd.ffpri.affrc.go.jp/>

⁴ <http://www.rinya.maff.go.jp/>

⁵ <https://www.jica.go.jp/>

⁶ <https://www.reddplus-platform.jp/>

⁷ <http://www.fao.org/home/en/>

⁸ <https://www.un-redd.org/>

然資源・環境保全省⁹森林局長の Nyi Nyi Kyaw 博士から「ミャンマーにおける REDD プラスの結果に基づく支払いと持続可能な開発支援」について発表いただく。その後、セッション 1 では「REDD プラスの技術的ツールとガイダンス」について、セッション 2 では「REDD プラスの制度とクレジットの今後の展望」について情報提供いただき、総括していきたい。こうした議論が、持続可能な開発目標¹⁰ (SDGs) にも掲げられている世界の森林保全や社会福祉の向上、パリ協定をはじめとする気候変動対策推進の一助となれば幸いである。

最後に本セミナーの開催に当たり、共催いただいた国際熱帯木材機関¹¹ (ITTO)、JICA、「森から世界を変える REDD+プラットフォーム」の皆さまに厚く御礼申し上げます。また、ご後援を賜った林野庁、外務省¹²、経済産業省¹³、環境省¹⁴、日本森林学会¹⁵、日本リモートセンシング学会¹⁶、日本熱帯生態学会¹⁷、森林計画学会¹⁸の関係各位にも御礼申し上げます。さらに本日ご来場いただいた皆さまには改めてご来場の御礼を申し上げるとともに、今後も変わらぬご協力をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

⁹ <http://www.monrec.gov.mm/>

¹⁰ <https://www.un.org/sustainabledevelopment/>

¹¹ <https://www.itto.int/ja/>

¹² <https://www.mofa.go.jp/mofaj/>

¹³ <http://www.meti.go.jp/>

¹⁴ <http://www.env.go.jp/>

¹⁵ <https://www.forestry.jp/>

¹⁶ <http://www.rssj.or.jp/>

¹⁷ <https://www.jaste.website/>

¹⁸ <https://www.forestplanning.jp/>